



2025年10月7日

各 位

社 名 日本アジア投資株式会社
代 表 取 締 役
代表者の役職名 社 長 執 行 役 員 C E O
丸 山 俊
(コード番号 8518 東証スタンダード市場)
問 い 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 C F O
岸 本 謙 司
T E L 0 3 (3 2 2 1) 8 5 1 8

関連会社 JAIC データダイナミクスによる新規事業の第1号案件 福島県双葉町における分散型 AI データセンター事業の支援事業採択に関するお知らせ

当社関連会社であるJAICデータダイナミクス株式会社(以下「JAIC-DD社」)は、AI等の急速な普及により高まっている計算力需要に応えるため、新規事業としてAIデータセンターの構築、運用事業に取り組んでおります。

その第1号案件として福島県双葉町において分散型AIデータセンター事業^(※1)を開始していましたが、この度、当事業が経済産業省による自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金(地域経済効果立地支援事業(五次))(以下「第5次地域経済効果支援事業」)に採択されましたのでお知らせいたします。

JAIC-DD社は最大15億円の補助金を交付申請する予定であり、当該申請の審査手続きの後、2026年12月予定の当AIデータセンター運用開始後に補助金が発生する見込みです。なお、JAIC-DD社は、圧縮記帳を行い補助金の発生時に同額の固定資産圧縮損を計上する予定です。

記

1. AI データセンター事業への参画の背景

近年の生成 AI の急速な普及に伴い、膨大なデータ処理を可能とする計算力の需要は急速に増加しています。その基盤を担うデータセンターは、単なる情報処理施設にとどまらず、AI 活用やクラウドサービスの持続的な発展を支える社会インフラとしての役割が一層高まっています。

その結果、国内市場規模で 2022 年の 2 兆 938 億円から 2027 年は 4 兆 1,862 億円へ大幅に伸長する見通しです。^(※2)

このような環境を踏まえ、当社グループでは、2025 年 2 月に当社及び分散型 AI データセンターの運営・構築支援等の事業を行うデジタルダイナミック株式会社(以下「DD 社」)の合併会社として JAIC データダイナミクス株式会社(以下「JAIC-DD 社」)を設立し、JAIC-DD 社において新規事業として AI データセンターの構築へ向けて具体的な検討を進めてまいりました。

2. 補助金の概要

データセンターは社会インフラとしての役割が期待されることから、総務省による「データセンター、海底ケーブル等の地方分散によるデジタルインフラ強靱化事業」等、国策として地方分散が推進され、そのための補助金も設けられています。

JAIC-DD 社は、2011 年 3 月の東日本大震災により甚大な被害があった福島県の浜通り地域における早期の産業復興に貢献するべく、福島県双葉町に分散型 AI データセンターを構築する事業を開始しております。当事業について 2025 年 7 月に第 5 次地域経済効果支援事業に公募申請し、2025 年 9 月 26 日に支援事業として採択されました。今後、交付申請の審査手続き及び 2026 年 12 月に予定されている当 AI データセンターの運用開始後に補助金の支給が最終決定され、補助金が発生する見込みです。

当事業の総事業費は 30 億円規模を想定しており、補助金以外の部分は JAIC-DD 社が資金調達を行い、当社グループからは最大 3 億円を拠出する予定です。JAIC-DD 社は、総事業費のうち主要な NVIDIA 製 B200 の購入費用見込額について、補助対象経費として申請しており、最大 13 億円から 15 億円の補助金が発生予定です。なお、JAIC-DD 社は、圧縮記帳を行い補助金の発生時に同額の固定資産圧縮損を計上する予定です。

3. 採択事業の概要

今般の採択事業では、福島県双葉町に 2MW(メガワット)受電規模のコンテナ形式による最大 100 台規模^(※3)のサーバーを配置できる AI データセンターを新設し、NVIDIA 製 B200 を搭載した高性能サーバー 32 台を整備いたします。本施設では、生成 AI や大規模データ処理に対応可能な GPU ホスティング事業およびコロケーション事業を展開します。

今後 JAIC-DD 社は、現在進めている AI データセンターの構築事業を推進し、2026 年 12 月に運用を開始する予定です。

JAIC-DD 社は、本事業を通じて、国内の災害に強いデジタルインフラ基盤構築に資するとともに、地域雇用の創出や地元企業との連携により、福島県双葉町を含む浜通り地域の復興と地域活性化に貢献してまいります。

4. 今後の見通し

JAIC-DD 社は、2026年12月に当 AI データセンターの運用開始を予定しております。

本件は中長期的には当社の業績及び企業価値の向上に資するものと考えておりますが、現時点の前提では当面の当社の連結業績に与える影響は軽微となる見込みです。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

5. 合併会社の概要

[JAIC-DD社概要]

(1)	名 称	JAIC データダイナミクス株式会社
(2)	所 在 地	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 太宰 敏郎、根来 実
(4)	事 業 内 容	データセンターの運営

	① クラウドコンピューティングおよびストレージサービスの提供 ② ハウジング、コロケーションサービスの提供 ③ サーバー管理・監視、クラウドサーバー管理代行サービスの提供
(5) 資 本 金	10 百万円
(6) 設 立 年 月 日	2025 年 2 月 26 日
(7) 決 算 月	12 月
(8) 純 資 産 額	確定した事業年度はありません。
(9) 総 資 産 額	確定した事業年度はありません。
(10) 出 資 比 率	当社 50%、デジタルダイナミック株式会社 50%

以 上

(※1)分散型AIデータセンター事業：

デジタルダイナミック株式会社が2025年7月に開始した事業。国内の東京圏および大阪圏に集中するAIデータセンターを地方へ分散配置し、AIの社会実装に不可欠な低レイテンシなデータ処理環境を全国に整備するとともに、災害へのレジリエンス強化、都市部における電力負荷の分散を目指すもの。

(※2)出所：総務省 令和6年版 情報通信白書

(※3)JAIC-DD社においてNVIDIA製 B200の公表スペックに基づき、当該GPU及びその他消費電力量を一定の前提により試算し、台数を算定したもの。